

【概要版】静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン

<静岡市の水素エネルギー利活用の方向性>

水素エネルギー利活用促進ビジョン

計画期間: 2017年度から2030年度まで

目標

水素エネルギーを利活用した「静岡型水素タウン」の実現

<SDGs(※)と関連付けた基本的視点>



※ SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成27年9月の国連サミットで採択された2030年度までの世界共通の目標(17のゴールと169のターゲット)

<目標達成に向けたプロジェクト>

(共通プロジェクト)

水素エネルギーの普及拡大

(都市部プロジェクト)

IoTを活用した水素エネルギーの利活用

(港湾部プロジェクト)

清水港を活用した水素エネルギーの利活用

(山間部プロジェクト)

未利用エネルギーを活用した水素エネルギーの利活用

第1期静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン

計画期間: 2017年度から2018年度まで

具体的事業・指標

- ・事業内容
- ・スケジュール
- ・指標(現状、目標)

水素エネルギー利活用促進ビジョン

【目標】

水素エネルギーを利活用した「静岡型水素タウン」の実現

【目標達成に向けたプロジェクト】

共通プロジェクト

水素エネルギーの普及拡大

理解の促進に向けた情報発信

燃料電池を活用した機器の普及拡大

新たな技術革新などに伴う水素エネルギー導入可能性の検討

都市部プロジェクト

IoTを活用した水素エネルギーの利活用

スマートICの有効活用

水素ステーションで製造した水素の利用用途拡大

街区全体のエネルギーをIoT技術を活用し最適な管理

港湾部プロジェクト

清水港を活用した水素エネルギーの利活用

国際貿易港「清水港」への水素供給基地の整備

周辺施設への水素供給

周辺地域への水素輸送

山間部プロジェクト

未利用エネルギーを活用した水素エネルギーの利活用

温泉付随ガスと微生物を活用した水素製造

周辺施設への水素供給

自立分散型エネルギーシステムの構築

水素エネルギー利活用促進アクションプラン

【具体的事業】

- ★水素ステーションを活用した環境教育推進事業
環境教育プログラム作成、視察などの受入体制整備等
- ★FCVを活用した普及啓発事業
燃料電池自動車の導入、燃料電池自動車を保有する事業者との連携
- ★水素エネルギー普及啓発イベント開催事業
イベント開催準備、(仮称)燃料電池展の開催
- ★静岡市水素エネルギー利活用促進協議会運営事業
協議会の開催、先進地視察(必要に応じ)
- ★普及初期における導入支援事業
静岡型水素タウン促進事業補助金の創設
- ★未利用水素エネルギー利活用検討事業
未利用水素エネルギーの利活用、新たなキャリアの開発

★スマートインターチェンジ活用検討事業

FCVユーザー向けの特典検討

★純水素型燃料電池実証事業

純水素型燃料電池実証実験、データ検証

★水素供給設備整備事業

特区認定などに向けた調整、事業採算性の検証

★(仮称)水素供給基地整備事業検討委員会運営事業

検討委員会構成委員の調整、事業採算性の検証

★周辺市町と連携した需要創出事業

オフサイト型水素ステーションの検討
しずおか中部連携中枢都市圏域での普及啓発

★FCフォークリフト利活用調査事業

FCフォークリフト導入に向けた事業採算性等の検証

★清水都心エリア開発検討事業

清水都心におけるエリア開発の検討

★温泉付随ガス可能性調査事業

関係者の合意形成、事業可能性調査

★微生物を用いた水素製造調査研究事業

関係者の合意形成、水素生成リアクターの実証実験

【指標】

水素を活用したまちづくりを必要と思う市民の割合

22.6%(2015) ⇒ 31.7%

家庭用燃料電池

1,236台 ⇒ 5,600台

業務用燃料電池

0台 ⇒ 2台

燃料電池自動車

13台 ⇒ 50台

環境教育などの実施者数

— ⇒ 5,000人

純水素型燃料電池実証実験

実施 ⇒ 完了

水素供給設備整備に向けた総合調整

実施 ⇒ 完了

(仮称)水素供給基地整備事業検討委員会

— ⇒ 設置

周辺市町との連携

— ⇒ 2自治体

温泉付随ガス可能性調査

— ⇒ 実施

フィールドでの水素製造の調査研究

— ⇒ 体制構築